



病院等医療機関、
介護老人保健施設および社会福祉施設

OB・OG紹介 — 卒業生の現在 —



三瓶美雪さん

太田総合病院附属太田西ノ内病院栄養部
管理栄養士

日本大学東北高等学校卒業→新潟医療福祉大学
健康科学部健康栄養学科卒業→太田総合病院付
属太田西ノ内病院栄養部 管理栄養士

現在のお仕事について教えてください

入院患者様及び外来通院中の患者様に向けて、自宅での食生活の注意点や改善すべき点について食事指導を行っています。また、病院給食の献立作成や入院患者様の栄養状態の把握・評価も行います。栄養状態改善に向けて、医師や看護師と連携し、「食事」という面から患者さんの病気の改善に向けてサポートを行っています。

病院食は「美味しくない」というイメージを持つ方が多いです。当院ではバイキングや行事食などを積極的に行い、食事制限がある中でも、患者様の入院生活の楽しみとなるような食事を提供できるよう、調理師と協力しながら業務を行っています。

ご自身のお仕事への思いについて教えてください

病院には、食欲がない方、食事制限がある方、食事をうまく飲み込むことが出来ない方など様々な悩みを持った方がいます。患者様一人一人、生活環境や悩んでいる内容が異なるため、ただ単に指導するだけの管理栄養士ではなく、その患者さんに合った食事指導や栄養管理が出来る管理栄養士を目指し、日々勉強を行っています。

少しでも食事が摂れるように患者様と関わっていくなかで、容態が回復していき、「美味しい」という言葉と笑顔を見ることが出来た日は、この仕事に就いてよかったなと感じます。

高校生の頃、どんなことを考えて過ごしていましたか？

特に得意とすることはありませんでした。大学進学は視野に入れていましたが、具体的な将来を考えて学校選びを行ったわけではありません。学業だけでなく、学校行事や部活動など高校生活でしか経験できないことには積極的に取り組むよう心がけていました。

管理栄養士になった理由はなんですか？

東日本大震災です。震災後、普段当たり前のように安全な食事を摂れていた生活がどれほど恵まれていたのか痛感しました。その経験から、何か食に携わる職に就きたいと考え、管理栄養士を目指すようになりました。

「新潟医療福祉大学でよかった」と思うことはなんですか？

患者様の状況・情報を把握するためには、他職種との連携が欠かせません。新潟医療福祉大学は、病院で活躍する他分野の職業を目指す学生が多く在学している為、「チーム医療」を在学中から実践的に学ぶことが出来ました。自分とは異なった視点から専門的な意見を聞くことができ、こうした活動はこの大学だからこそ、より実践的に学ぶことができたと感じており、新潟医療福祉大学で学んでよかったと思う最大の理由です。

臨地実習ではどこに行きましたか？

大学では臨床栄養学実習として県内の病院、給食経営管理論実習として小学校、公衆栄養学実習として保健所に行きました。また、栄養教諭免許取得のための教育実習として新潟市内の小学校にも実習に行きました。

最も印象に残っている臨地実習先はどこでしたか？

病院実習です。三週間実習を行い、厨房に入って調理を行ったり、食事制限が必要な患者様向けの献立を実際に作成したりと様々な経験をさせていただきました。実際に食事指導の場面も見学し、授業だけでは学ぶことが出来ない学習をさせていただいたことが印象に残っています。

その実習先での活動は現在のお仕事につながっていますか？

臨地実習で感じたこと、学んだことを踏まえ就職先を決定しました。食事指導を行っている場面を見学させていただいた際に、薬だけに頼るのではなく、食事という面から治療の手助けを行っている管理栄養士の方の姿を見て、自分もその様な職に就きたいと考え、病院の管理栄養士を目指しました。

